



COVID-19 感染拡大防止のための 令和3年度活動報告No.6

昨年に引き続き、COVID-19 感染対策を心掛けながら、婦人会活動の範囲を広げています。

長引く新型コロナウイルス感染症対策のなかで、さまざまな制約を乗り越えて、独自に考案した事業を実施しています。地域婦人会の魅力再発見、地域間交流、婦人会員増強を目指した活動を現在進行中です。ウイズコロナ時代の婦人会を見据え、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

< 島根県連合婦人会 >

島根県では、婦人会主催の地域交流活動を実施しています。今年度は19団体で計画していますが、そのうちの5団体の報告を簡単にご紹介します。

なお、詳細は、島根県連合婦人会のホームページに掲載されていますので、そちらもぜひご覧ください (<https://fujinkaikan.or.jp/>)。

①出雲市佐田地域婦人会

令和3年7月22日(木)に「SDGs 勉強会」を開催しました。この地域は、一度婦人会がなくなったのですが、再開を機に勉強会を企画しました。講師に浅津知子氏を迎え、自分でできるSDGsや婦人会活動について学ぶ機会を得ました。当日、数名の方が新たに婦人会員となっていただきました(写真1)。

②松江市東出雲地域婦人会

令和3年8月18日(水)に「地雷撲滅運動 ちょうちょキャンペーンの普及」を行いました。

日本赤十字社島根支部の講師から、地雷の種類、恐ろしさなどの説明を受け、対人地雷の模型を見たあと、オタワ条約へ未加入の国(写真2)にちょうちょの形をしたメッセージカードを作成しました。地雷について身近に感じることができました。東出雲中学校のボランティア部の皆さんも参加し、総勢46人で書いたメッセージカードを日本赤十字社島根支部に託しました。



写真1 7/22 勉強会の様子



写真2 ラオス宛のメッセージカード

③ 邑南町井原地域婦人会

公民館事業として、若者との交流会が行われていますが、令和3年7月9日（金）に「地域の若者から教わるスマホ・SNS教室」を地域の若者に交渉して、開催することができました。「おおなんアプリ」という防災無線情報をスマホで確認できるアプリをダウンロードし、QRコードの読み取り方法、LINEの使い方など、少しスマホが使いこなせるようになりました。コロナ感染対策上、21人と少人数でしたが、次回を期待する声もあがりました（写真3）。

④ 浜田市弥栄地域婦人会

普段交流機会の少ない30～40代の子育て世代のママさんと地域で頑張る企業をつなぐ「機織り体験」を令和3年7月11日（日）に開催しました（写真4）。さまざまな世代で交流する機会も少ないため、「婦人会」をアピールしながら、参加人数12人と少数ではありましたが、地域活性のお手伝いことができました。新規員獲得のため、楽しいイベントを企画していきたいと考えています。

⑤ 津和野町津和野地域婦人会

令和3年6月19日（土）に小雨の降る中、津和野小学校の草取りボランティアを行いました。普段家に籠りきりだった会員は、久々の再会に心躍らせ、もくもくと草取りを行いました。屋内より屋外のほうが、感染対策上活動しやすいと考える会員も多く、31人の参加を得て実施することができました。当日の活動は、津和野小学校だよりに掲載されました（写真5）。



写真3 講師（若者）の丁寧な指導で上達



写真4 体験者全員で記念撮影（撮影時のみマスクを外しました）



写真5 学校だより6月25日号